

**ウミガメを  
保護するために**

6月2日、浜田・高須海岸でウミガメ保護に伴う海岸清掃作業が行われました。両海岸はウミガメの産卵地として知られており、過去3年間で約1,200個の卵を確認しています。今年もウミガメが安全に上陸・産卵できるよう、地元町内会や市内企業など約300人が作業を実施。参加者は海風を感じながら熱心に漂流物などのごみを拾い集め、爽やかな汗を流していました。

**水道の大切さを  
再確認**

6月1～7日、市役所1階市民ホールで「令和6年度水道ポスターコンクール」の作品展示が行われました。これは「水道週間」に併せて水道への理解と学習の機会を広げるために、市内の小学4年生以上の児童を対象に実施したもので、応募総数630点のうち入賞作品21点と佳作30点を展示。現在は、市上下水道部庁舎1階エントランスで8月30日(金)まで展示を行っています。

**目標は甲子園！  
力強く抱負を語る**

6月6日、鹿屋農業高校硬式野球部の選手や関係者が市役所を訪れました。これは6月2日まで行われた「第66回NHK旗争奪鹿児島県選抜高校野球大会」での準優勝を報告したものの、たなかぞうすけ田中宗典主将は「先生や市民の皆さんの応援のおかげで準優勝することができた。しかし、満足している部員はいない。夏の大会で優勝して目標の甲子園に出場したい」と力強く抱負を語りました。

**消費拡大のために  
父の日には牛乳を**

6月5日、県酪農業協同組合大隅支所青年女性会議と関係者が市役所を訪れ「父の日には牛乳(ちち)を贈ろう！」キャンペーンを実施しました。これは、地元産の安全安心な牛乳を家庭や職場でより一層消費してもらうための取り組みで、関係者は同日、市役所1階で200mlの紙パック牛乳やグッズを無料配布。おいしい地元の牛乳を市民にアピールしました。

**地元企業が  
自社の魅力をPR**

6月7日、クレバリーホームアリーナ(市体育館)で「鹿屋市合同企業説明会」が開催されました。これは、地元企業の雇用促進と地元就職希望者の活動支援を目的とした企業説明会で、出展した地元企業77社による個別での説明に高校生や大学生、一般求職者など約300人が出席。参加者は担当者の熱心なPRに耳を傾け、地元企業の魅力や仕事の内容等を真剣に確認していました。

**軟式野球で  
全国大会に出場**

6月6日、寿パッションズ軟式野球スポーツ少年団が市役所を訪れました。同少年団は「たかまどのみやしはい高円宮賜杯第44回全日本学童軟式野球大会マクドナルド・トーナメント」の県予選においてベスト8入りを果たし、7月26～30日に和歌山県で開催される「第29回高野山旗全国学童軟式野球大会」に出場します。当日、子どもたちはチームワークや大会にかける思いについて語りました。